

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ小郡

|             |    | チェック項目                                                                                                                       | はい   | いいえ  | 工夫している点                             | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-------------------------------------|------------------------------|
| 環境・<br>体制整備 | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                                                    | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 2  | 職員の配置数は適切である                                                                                                                 | 100% | 0%   | ・保育士の人数が充実しており<br>利用者に合わせた職員配置をしている |                              |
|             | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている                                             | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                                                          | 100% | 0%   |                                     |                              |
| 業務改善        | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                                                                                  | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                                                                | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                                                               | 0%   | 100% |                                     | ・外部評価について今後検討していく            |
|             | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                                                  | 100% | 0%   | ・外部・内部研修を実施し<br>知識向上の機会を持っている       |                              |
| 適切な支援の提供    | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                                                       | 100% | 0%   | ・必要に応じ外部心理士による<br>発達検査を実施し状況を把握している |                              |
|             | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                   | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している                                                                                 | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                                                               | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                                                                          | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                                                                         | 100% | 0%   |                                     |                              |
|             | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                                                                        | 100% | 0%   |                                     |                              |

|              |    |                                                                                                      |      |      |                                       |  |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|---------------------------------------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                                    | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                                                | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                     |      |      |                                       |  |
|              | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                 |      |      |                                       |  |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                        | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                                    | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                             | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                                             | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                                              | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                                       | 100% | 0%   | ・必要に応じ個別課題を設定し保護者と進捗状況を確認し情報の共有を図っている |  |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている                                           | 100% | 0%   |                                       |  |
| 保護者への説明責任等   | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                                           | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                                        | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                                         | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                                                     | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                                                    | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                                                 | 100% | 0%   |                                       |  |
|              | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                                                   | 0%   | 100% | ・地域住民との交流を心掛け地域清掃等に参加している             |  |

|         |    |                                                                            |      |    |                                   |  |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------|------|----|-----------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 100% | 0% |                                   |  |
|         | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                         | 100% | 0% |                                   |  |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                          | 100% | 0% |                                   |  |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 100% | 0% | ・保護者の申し出によりアレルギーの対応を行っている         |  |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                  | 100% | 0% |                                   |  |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                         | 100% | 0% | ・外部・内部研修の機会を持つ<br>・虐待防止委員会を設置している |  |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 100% | 0% |                                   |  |

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ小郡

保護者等数(児童数) 41

回収数 37

割合 90 %

|              |    | チェック項目                                                                                                                        | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                                         | ご意見を踏まえた<br>対応                    |
|--------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|-----|-------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 環境・<br>体制整備  | 1  | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか                                                                                                      | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                                                             |                                   |
|              | 2  | 職員の配置数や専門性は適切であるか                                                                                                             | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    | ・専門性が適切かの<br>判断基準がわかりません                                    | ・基準より多く職員配置をしています                 |
|              | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか                                           | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    |                                                             |                                   |
|              | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか                                                                          | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    |                                                             |                                   |
| 適切な支援の<br>提供 | 5  | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか                                                                                | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                                                             |                                   |
|              | 6  | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 90%  | 5%            | 0%  | 5%    | ・ガイドラインをよく知らないの<br>で何とも言えません                                |                                   |
|              | 7  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか                                                                                                        | 94%  | 3%            | 0%  | 3%    |                                                             |                                   |
|              | 8  | 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか                                                                                                    | 100% | 0%            | 0%  | 0%    | ・季節感のあるもの、家では<br>できないような活動もあり毎回<br>とても楽しみです                 |                                   |
|              | 9  | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                                                                     | 8%   | 0%            | 92% | 0%    | ・幼稚園・保育園と併用してい<br>るので必要性を感じません                              | ・地域の中で育ちあえるよう併用先の<br>園と連携し支援を行います |
| 保護者への説明等     | 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか                                                                                                    | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    |                                                             |                                   |
|              | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか                                             | 95%  | 5%            | 0%  | 0%    |                                                             |                                   |
|              | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか                                                                                     | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                                                             |                                   |
|              | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか                                                                            | 97%  | 3%            | 0%  | 0%    | ・家での様子もよく聞いてもら<br>えるので、一緒に子供の成長<br>をみてもらっているという安心<br>感があります |                                   |
|              | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか                                                                                          | 95%  | 5%            | 0%  | 0%    | ・困っている事等、どんな<br>相談でも親を否定せず<br>共感しながら提案もしてくれ<br>るので相談しやすい    |                                   |
|              | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか                                                                                     | 92%  | 5%            | 0%  | 3%    |                                                             |                                   |
|              | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか                                             | 97%  | 3%            | 0%  | 0%    | ・相談をするとすぐ答えて<br>もらえて有難いです<br>・先生といつも話しができて助<br>かります         |                                   |
|              | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか                                                                                             | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                                                             |                                   |

|         |    |                                                                          |      |    |    |    |                                                        |                                |
|---------|----|--------------------------------------------------------------------------|------|----|----|----|--------------------------------------------------------|--------------------------------|
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか     | 92%  | 5% | 0% | 3% | ・LINEでのやり取りもできるので便利です<br>・HPの更新がもつとしてであると嬉しいですよ        | ・HPの更新を定期的に行い、情報の発信ができるよう心掛けます |
|         | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか                                                     | 97%  | 0% | 0% | 3% |                                                        |                                |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 97%  | 3% | 0% | 0% |                                                        |                                |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                    | 95%  | 0% | 0% | 5% |                                                        |                                |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか                                                         | 92%  | 8% | 0% | 0% | ・毎回本当に楽しみにしていて、しらすぎに今日行けると分かると準備もスムーズに早く行きたいと玄関で待っています |                                |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか                                                           | 100% | 0% | 0% | 0% | ・子どもがのびのび活動ができ成長していると思います<br>・子どもも私(母)も大好きな場所です        |                                |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ鍼灸院

|          |    | チェック項目                                                                                                                       | はい   | いいえ  | 工夫している点                                                             | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|---------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                                                    | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 2  | 職員の配置数は適切である                                                                                                                 | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている                                             | 100% | 0%   | 顔写真や色分けなどをしたり場所の固定化、スケジュールを可視化するなど分かりやすい環境づくりを心がけている                |                          |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                                                          | 100% | 0%   | 定期的な清掃や消毒に加え、随時清潔管理をし、手洗いの水温にも配慮をしている                               |                          |
| 業務改善     | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                                                                                  | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                                                                | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                                                               | 0%   | 100% |                                                                     | 今後検討していきたい               |
|          | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                                                  | 100% | 0%   | 研修開催の案内など職員全体に示し、必要な研修は積極的に受けられるようにしている                             |                          |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                                                       | 100% | 0%   | 必要に応じて外部心理士による発達検査を実施し、状況を把握している                                    |                          |
|          | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                   | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 100% | 0%   | それぞれの発達状況に合わせた取り組みができるよう配慮し、それらに組み込む意義など分かりやすく保護者に説明している            |                          |
|          | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | 100% | 0%   | 職員間で意見を出し合いながらプログラムを決めている<br>活動内容が固定しないように利用している子どもに合わせたプログラムを考えている |                          |
|          | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | 100% | 0%   | それぞれの子どもの発達状況に合わせて活動プログラムを考えている                                     |                          |
|          | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している                                                                                 | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                                                               | 100% | 0%   | 子どもの状況に応じてどの職員でも対応できるよう事前の打ち合わせをし、職員間で共有している                        |                          |
|          | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                                                                          | 100% | 0%   | 職員全員で気づきを発して共有し、次の支援につなげるようにしている                                    |                          |
|          | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                                                                         | 100% | 0%   |                                                                     |                          |
|          | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                                                                        | 100% | 0%   |                                                                     |                          |

|              |    |                                                                                                      |      |     |                                                 |                                  |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-------------------------------------------------|----------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                                    | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                                                | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                     |      |     |                                                 |                                  |
|              | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                 |      |     |                                                 |                                  |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                        | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                                    | 40%  | 60% |                                                 | 今後は小学校に向けても積極的に関係をとっていきたい        |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                             | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                                             | 50%  | 50% | 行事等は兄弟児も参加をし、一緒に活動する機会がある                       |                                  |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                                              | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                                       | 100% | 0%  | その日の活動の様子を写真で伝えたり出来るようになったことや今後の課題についてその都度伝えている |                                  |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている                                           | 80%  | 20% | ペアトレは行っていないが、保護者勉強会を開催している                      |                                  |
| 保護者への説明責任等   | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                                           | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                                        | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                                         | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                                                     | 80%  | 20% |                                                 | 今後も毎月の行事予定表やLINEなどを使い情報を発信していきたい |
|              | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                                                    | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                                                 | 100% | 0%  |                                                 |                                  |
|              | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                                                   | 100% | 0%  | 行事の際には近隣の方を招待するなどして地域と交流する機会を設けている              |                                  |

|         |    |                                                                            |      |     |                                                         |  |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------|------|-----|---------------------------------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 100% | 0%  |                                                         |  |
|         | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                         | 100% | 0%  |                                                         |  |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                          | 100% | 0%  | 事前に保護者に確認をし、職員間で共有している                                  |  |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 50%  | 50% | 母子通園の為、医師の診断書の提出は義務付けていないが、保護者から家庭での食事状況などを詳しく聞き取りをしている |  |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                  | 100% | 0%  |                                                         |  |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                         | 100% | 0%  |                                                         |  |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 100% | 0%  |                                                         |  |



保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ鑄銭司

保護者等数(児童数) 40 回収数 35 割合 88 %

|             |    | チェック項目                                                                                                                        | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                                                    | ご意見を踏まえた対応                                  |
|-------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|-----|-------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 環境・<br>体制整備 | 1  | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか                                                                                                      | 100% | 0%            | 0%  | 0%    | 古民家を改装した施設で、温かみがあるので気に入っています。広さも十分です。                                  |                                             |
|             | 2  | 職員の配置数や専門性は適切であるか                                                                                                             | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    | 先生が多くて手厚いと思います                                                         |                                             |
|             | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか                                           | 87%  | 10%           | 3%  | 0%    | ・設定と遊びの部屋が完全に分かれていて良い<br>・時々段差につまずいてこける子を見かける<br>・遊びのスペースがもう少し分類されるといい | ・環境構成を見直し、子どもたちが過ごしやすい環境になるように今後も取り組んでまいります |
|             | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか                                                                          | 97%  | 3%            | 0%  | 0%    | 建物自体は新しくないですが、いつもとても清潔にしているとします。                                       |                                             |
| 適切な支援の提供    | 5  | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか                                                                                | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                                                                        |                                             |
|             | 6  | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    |                                                                        |                                             |
|             | 7  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか                                                                                                        | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                                                                        |                                             |
|             | 8  | 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか                                                                                                    | 94%  | 0%            | 0%  | 6%    | 季節に合わせたプログラムや親も一緒に参加できるものもあり、子どもも楽しそうです                                |                                             |
|             | 9  | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                                                                     | 60%  | 3%            | 31% | 6%    | ・園に通っている為、必要ありません<br>・特に必要性を感じておりません                                   | 子どもの発達状況に合わせ、必要なお子さんには対応をしていきたい             |
| 保護者への説明等    | 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか                                                                                                    | 94%  | 6%            | 0%  | 0%    |                                                                        |                                             |
|             | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか                                             | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                                                                        |                                             |
|             | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか                                                                                     | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    | 保護者向けの勉強会もあり、対応の仕方など個別に悩みがあれば相談にのっていただけるので心強いです                        |                                             |
|             | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか                                                                            | 100% | 0%            | 0%  | 0%    | 療育の前後に家での様子を聞き取りされたり、療育での様子を丁寧に教えていただけるので共有できていると思う                    |                                             |
|             | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか                                                                                          | 100% | 0%            | 0%  | 0%    | 悩んでいることがあればその都度相談に乗っていただいたり、子育ての大変さを理解して励ましてもらえてとてもありがたいです             |                                             |

|         |    |                                                                                   |      |    |    |     |                                                                                                                   |                            |
|---------|----|-----------------------------------------------------------------------------------|------|----|----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|         | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか                                         | 88%  | 6% | 0% | 6%  | 親同士で悩みを共感し合ったり、色々な話をする時間もある                                                                                       | 保護者同士の連携の場を増やしていきたい        |
|         | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 97%  | 0% | 0% | 3%  | 必要な時にはいつでも相談してアドバイスをもらうことができるので安心感がある                                                                             |                            |
|         | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか                                                 | 97%  | 0% | 0% | 3%  |                                                                                                                   |                            |
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか              | 94%  | 0% | 0% | 6%  |                                                                                                                   |                            |
|         | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか                                                              | 100% | 0% | 0% | 0%  |                                                                                                                   |                            |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。          | 80%  | 3% | 0% | 17% |                                                                                                                   | 利用者全員避難訓練を受けられるように訓練日を検討する |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                             | 94%  | 0% | 0% | 6%  |                                                                                                                   | 利用者全員避難訓練を受けられるように訓練日を検討する |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか                                                                  | 94%  | 3% | 0% | 3%  | ・設定保育の内容を「今日は何するの?」と興味を持ち、楽しみに通っています。<br>・年中になって幼稚園に行きたい気持ちが増えてきたなどということもあるし、好きな活動がある時には楽しみにしていることもあるので半々かなと思います。 |                            |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか                                                                    | 100% | 0% | 0% | 0%  | それぞれの子どもの特性をよく見て対応してくださっていると感じます。こちらに決めて良かったといつも思っています。                                                           |                            |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目指すとしている。